

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	貫通孔付き有水晶体眼内レンズ手術後 8 年以上経過した症例の視機能・ 眼合併症についての単施設後方視的研究 (B15-000)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医療衛生学部視覚生理学 教授 / 眼科学兼任 神谷和孝
他の研究機関および 各施設の研究責任者	
本研究の概要・背景・目的	貫通孔のない従来型の有水晶体眼内レンズは眼内にレンズを挿入することにより瞳孔ブロックによる眼圧上昇、角膜内皮障害、併発白内障等が合併症として挙げられ、これら合併症を予防するために虹彩切除の併用が必要でした。そこで、2007 年よりレンズの光学部中央に 0.36mm の貫通孔を有する有水晶体眼内レンズ (implantable collamer lens : Visian ICL™, Hole ICL, STAAR Surgical 社) が開発され、2014 年には本邦で最初に承認された有水晶体眼内レンズとなりました。Hole ICL は安全性、予測性、安定性の高い屈折矯正手術として用いられていますが、短期の臨床成績の既報のみであり、長期経過した症例の臨床成績の報告はありません。そこで今回 Hole ICL の術後 8 年経過した症例の臨床成績について検討します。
調査データ 該当期間	2010 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	上記期間内に有水晶体眼内レンズ手術をうけ、術後 8 年の眼科診療を終了している方。
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2010 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療記録、眼科検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属・職位：眼科 一般

担当者：安藤 和歌子（アンドウ ワカコ）

電話：042-778-8111

備考